

資料2-1 調査結果（数表）－単純集計表

■回答者の属性

問1 性別

	1	2	3	4	5	
(総正標本数)	男性	女性	わからない	答えたくない	その他	不明・無回答
2,432	1,098	1,323	0	11	0	10
100.0%	45.1%	54.4%	0.0%	0.5%	0.0%	-

問2 年代

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
(総正標本数)	18歳以下	20歳以下	25歳以下	30歳以下	35歳以下	40歳以下	45歳以下	50歳以下	55歳以下	60歳以下	65歳以下	70歳以上	不明・無回答
2,426	162	196	165	244	329	228	275	169	114	173	154	217	16
100.0%	6.7%	8.1%	6.8%	10.1%	13.6%	9.4%	11.3%	7.0%	4.7%	7.1%	6.3%	8.9%	-

◇性・年代

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
(総正標本数)	18歳以下男性	20歳以下男性	25歳以下男性	30歳以下男性	35歳以下男性	40歳以下男性	45歳以下男性	50歳以下男性	55歳以下男性	60歳以下男性	65歳以下男性	70歳以上男性	不明・無回答
1,094	85	86	66	103	155	93	125	65	55	77	73	111	4
100.0%	7.8%	7.9%	6.0%	9.4%	14.2%	8.5%	11.4%	5.9%	5.0%	7.0%	6.7%	10.1%	-

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
(総正標本数)	18歳以下女性	20歳以下女性	25歳以下女性	30歳以下女性	35歳以下女性	40歳以下女性	45歳以下女性	50歳以下女性	55歳以下女性	60歳以下女性	65歳以下女性	70歳以上女性	不明・無回答
1,319	77	110	99	135	173	135	150	102	59	94	79	106	4
100.0%	5.8%	8.3%	7.5%	10.2%	13.1%	10.2%	11.4%	7.7%	4.5%	7.1%	6.0%	8.0%	-

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
(総正標本数)	18歳以下答えたくない	20歳以下答えたくない	25歳以下答えたくない	30歳以下答えたくない	35歳以下答えたくない	40歳以下答えたくない	45歳以下答えたくない	50歳以下答えたくない	55歳以下答えたくない	60歳以下答えたくない	65歳以下答えたくない	70歳以上答えたくない	不明・無回答
11	0	0	0	6	1	0	0	2	0	2	0	0	0
100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	54.5%	9.1%	0.0%	0.0%	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%	0.0%	-

◆年代（7区分）

	1	2	3	4	5	6	7	
（規 正 標 本 数）	1 8 1 9 歳	2 0 2 9 歳	3 0 3 9 歳	4 0 4 9 歳	5 0 5 9 歳	6 0 6 9 歳	7 0 歳 以上	不明・無回答
2,426	162	361	573	503	283	327	217	16
100.0%	6.7%	14.9%	23.6%	20.7%	11.7%	13.5%	8.9%	-

◆性・年代（7区分）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
（規 正 標 本 数）	1 8 1 9 歳 男性	2 0 2 9 歳 男性	3 0 3 9 歳 男性	4 0 4 9 歳 男性	5 0 5 9 歳 男性	6 0 6 9 歳 男性	7 0 歳 以上 男性	1 8 1 9 歳 女性	2 0 2 9 歳 女性	3 0 3 9 歳 女性	4 0 4 9 歳 女性	5 0 5 9 歳 女性	6 0 6 9 歳 女性	7 0 歳 以上 女性
2,424	85	152	258	218	120	150	111	77	209	308	285	161	173	106
100.0%	3.5%	6.3%	10.6%	9.0%	5.0%	6.2%	4.6%	3.2%	8.6%	12.7%	11.8%	6.6%	7.1%	4.4%

15	16	17	18	19	20	21	
1 8 1 9 歳 男性	2 0 2 9 歳 男性	3 0 3 9 歳 男性	4 0 4 9 歳 男性	5 0 5 9 歳 男性	6 0 6 9 歳 男性	7 0 歳 以上 男性	不明・無回答
0	0	7	0	2	2	0	18
0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.1%	0.1%	0.0%	-

問3 居住地域

	1	2	3	4	5	6	7	
規 正 標 本 数 （ 総 数 ）	大 津 地 域 （ 大 津 市 ）	栗 湖 東 南 地 域 （ 草 津 市 、 野 洲 市 、 守 山 市 、 ）	甲 賀 地 域 （ 湖 南 市 、 甲 賀 市 ）	近 東 江 近 江 地 域 （ 近 江 八 幡 市 、 東 日 野 町 、 竜 王 町 ）	豊 湖 東 地 域 （ 彦 根 市 、 愛 荘 町 、 甲 良 町 、 多 賀 町 ）	湖 北 地 域 （ 長 浜 市 、 米 原 市 ）	湖 西 地 域 （ 高 島 市 ）	不明・無回答
2,429	624	590	250	360	250	268	87	13
100.0%	25.7%	24.3%	10.3%	14.8%	10.3%	11.0%	3.6%	-

問4 職業

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		(1~6)	(7~9)
規正標本数（総数）	勤め人（正規の職員・従業員、会社などの役員）等（パート・アルバイト・派遣）	勤め人（非正規の職員・従業員）	農林漁業	会社経営者、自営業主（農林漁業を除く）	家族従業者（農家や会社など自営業主の家族で、その自営業に従事している方）	その他の有職	家事専業	学生	無職	不明・無回答	『有職』	『無職』
2,410	1,058	507	22	99	39	26	166	249	244	32	1,751	659
100.0%	43.9%	21.0%	0.9%	4.1%	1.6%	1.1%	6.9%	10.3%	10.1%	-	72.7%	27.3%

問4（付問1）一週間の平均勤務時間（問4で1～6と回答した人のみ）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
規正標本数（総数）	5時間未満	5時間10時間未満	10時間15時間未満	15時間20時間未満	20時間25時間未満	25時間30時間未満	30時間35時間未満	35時間40時間未満	40時間45時間未満	45時間50時間未満	50時間55時間未満	55時間60時間未満	60時間以上	不明・無回答
1,718	56	289	116	94	71	55	70	219	336	201	90	54	67	33
100.0%	3.3%	16.8%	6.8%	5.5%	4.1%	3.2%	4.1%	12.7%	19.6%	11.7%	5.2%	3.1%	3.9%	-

問4（付問2）主な勤務地（問4で1～6と回答した人のみ）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
規正標本数（総数）	大津地域（大津市）	湖南地域（草津市、守山市、栗東市、野洲市）	甲賀地域（湖南市、甲賀市）	近江地域（近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町）	湖東地域（彦根市、愛知町、豊郷町、甲良町、多賀町）	湖北地域（長浜市、米原市）	湖西地域（高島市）	京都府	大阪府	福井県	岐阜県	愛知県	その他	不明・無回答
1,607	316	352	150	212	158	128	44	150	47	3	2	3	42	144
100.0%	19.7%	21.9%	9.3%	13.2%	9.8%	8.0%	2.7%	9.3%	2.9%	0.2%	0.1%	0.2%	2.6%	-

問5 婚姻状況

	1	2	3	4	5	
規正標本数（総数）	結婚している	と結婚していないがパートナー	離別	死別	未婚	不明・無回答
2,409	1,429	20	109	55	796	33
100.0%	59.3%	0.8%	4.5%	2.3%	33.0%	-

問5（付問1） 配偶者（パートナー）の職業（問5で1または2と回答した人のみ）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		(1~6)	(7~9)
規正標本数（総数）	勤め人（正規の職員・従業員、会社などの役員）	勤め人（非正規の職員・従業員）（パート・アルバイト・派遣等）	農林漁業	漁業を除く会社経営者、自営業主（農林漁業）	家族従業者（農家や会社など）自営業主の家族で、その自営業に従事している方	その他の有職	家事専業	学生	無職	不明・無回答	『有職』	『無職』
1,429	696	297	13	78	42	10	119	0	174	20	1,136	293
100.0%	48.7%	20.8%	0.9%	5.5%	2.9%	0.7%	8.3%	0.0%	12.2%	-	79.5%	20.5%

問5（付問2） 配偶者（パートナー）の主な勤務地（問5（付問1）で1～6と回答した人のみ）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
規正標本数（総数）	大津地域（大津市）	市、湖南地域（草津市、野洲市）守山	甲賀地域（湖南市、甲賀市）	近江市、日野町、竜王町（近江八幡市、東町）	町、豊郷町、甲良町、多賀町、湖東地域（彦根市、愛荘町）	市、湖北地域（長浜市、米原市）	湖西地域（高島市）	京都府	大阪府	福井県	岐阜県	愛知県	その他	不明・無回答
1,122	197	268	120	160	94	100	31	85	30	1	2	4	30	14
100.0%	17.6%	23.9%	10.7%	14.3%	8.4%	8.9%	2.8%	7.6%	2.7%	0.1%	0.2%	0.4%	2.7%	-

問6 最終学歴

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
規正標本数（総数）	小学・中学	高校・旧制中	専門学校	短大	高専	大学	大学院（修士）	大学院（専門職）	大学院（博士）	不明・無回答
2,388	95	693	295	267	18	927	71	14	8	54
100.0%	4.0%	29.0%	12.4%	11.2%	0.8%	38.8%	3.0%	0.6%	0.3%	-

問7 世帯年収（税込み）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
規正標本数（総数）	100万円未満	100万円～199万円	200万円～299万円	300万円～399万円	400万円～499万円	500万円～599万円	600万円～699万円	700万円～799万円	800万円～899万円	900万円～999万円	1000万円～1249万円	1250万円～1499万円	1500万円～1999万円	2000万円以上	わからない	不明・無回答
2,131	52	92	178	200	211	218	164	173	175	111	146	72	34	35	270	311
100.0%	2.4%	4.3%	8.4%	9.4%	9.9%	10.2%	7.7%	8.1%	8.2%	5.2%	6.9%	3.4%	1.6%	1.6%	12.7%	-

問8 同居有無

	1	2	
規正標本数（総数）	している	していない	不明・無回答
2,383	2,085	298	59
100.0%	87.5%	12.5%	-

問8（付問1） 同居者（問8で1と回答した人のみ）

【複数回答】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
規正標本数（総数）	配偶者（パートナー）	あなたの父	あなたの母	父配偶者（パートナー）の	母配偶者（パートナー）の	あなたの祖父母	祖父母（パートナー）の	あなたの子ども	あなたの兄弟姉妹	兄弟姉妹（パートナー）の	あなたの孫	その他	不明・無回答
2,081	1,251	619	769	69	139	133	15	970	350	9	41	30	4
-	60.1%	29.7%	37.0%	3.3%	6.7%	6.4%	0.7%	46.6%	16.8%	0.4%	2.0%	1.4%	-

問8（付問2） 子どもの人数と一番下の子どもの年齢（問8（付問1）で8と回答した人のみ）

	1	2	3	4	5			1	2	
規正標本数（総数）	1人	2人	3人	4人	5人	不明・無回答	規正標本数（総数）	0～6歳	その他	不明・無回答
932	290	438	176	24	4	38	915	303	612	55
100.0%	31.1%	47.0%	18.9%	2.6%	0.4%	-	100.0%	33.1%	66.9%	-

1. 男女の地位に関する意識について

問9 各分野での男女の地位の平等感

		1	2	3	4	5	6		(1+2)	(4+5)
	規正標本数（総数）	男性が優遇されている	男性がどちらかといえはいる	平等である	女性がどちらかといえはいる	女性が優遇されている	わからない	不明・無回答	『男性が優遇』	『女性が優遇』
(1) 家庭生活で	2,398	241	788	963	146	55	205	44	1,029	201
	100.0%	10.1%	32.9%	40.2%	6.1%	2.3%	8.5%	—	42.9%	8.4%
(2) 職場の中で	2,305	242	718	828	168	43	306	137	960	211
	100.0%	10.5%	31.1%	35.9%	7.3%	1.9%	13.3%	—	41.6%	9.2%
(3) 学校教育の場で	2,303	76	244	1,224	90	22	647	139	320	112
	100.0%	3.3%	10.6%	53.1%	3.9%	1.0%	28.1%	—	13.9%	4.9%
(4) 地域活動の場で	2,376	229	663	725	124	33	602	66	892	157
	100.0%	9.6%	27.9%	30.5%	5.2%	1.4%	25.3%	—	37.5%	6.6%
(5) 政治の場で	2,388	973	853	223	27	14	298	54	1,826	41
	100.0%	40.7%	35.7%	9.3%	1.1%	0.6%	12.5%	—	76.5%	1.7%
(6) 法律や制度の上で	2,386	373	698	607	162	59	487	56	1,071	221
	100.0%	15.6%	29.3%	25.4%	6.8%	2.5%	20.4%	—	44.9%	9.3%
(7) 社会通念・慣習・しきたりなど	2,392	681	1,073	230	69	25	314	50	1,754	94
	100.0%	28.5%	44.9%	9.6%	2.9%	1.0%	13.1%	—	73.3%	3.9%
(8) 社会全体でみて	2,386	392	1,205	328	124	40	297	56	1,597	164
	100.0%	16.4%	50.5%	13.7%	5.2%	1.7%	12.4%	—	66.9%	6.9%

問10 日常生活の中で男女の不平等を一番感じるところ

	1	2	3	4	5	
規正標本数（総数）	家庭	職場	地域社会	不平等は感じない	わからない	不明・無回答
2,386	398	407	778	416	387	56
100.0%	16.7%	17.1%	32.6%	17.4%	16.2%	—

問11 「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべき」という考え方

	1	2	3	4	5		(1+2)	(3+4)
規正標本数（総数）	同感する	どちらかといえば同感する方である	どちらかといえば同感しない方である	同感しない	わからない	不明・無回答	『同感する』	『同感しない』
2,404	30	421	624	1,158	171	38	451	1,782
100.0%	1.2%	17.5%	26.0%	48.2%	7.1%	—	18.8%	74.1%

問11（付問1） 『同感する』と考える理由（問11で1または2と回答した人のみ）

[複数回答]

	1	2	3	4	5	6	7	
規正標本数（総数）	「男性は仕事をし、女性 は家庭を守る」のは日本 の伝統だと思うから	母親が家庭にいた方が、 子どもの成長にとって良 いと思うから	配偶者や家族が望んで いるから	仕事と家庭を両立するよ り、性別で役割を分担した 方が効率がよいと思う から	能力的にみて、男性は 仕事に向いて、女性 は家事・育児・介護 等に向いていると思う から	その他	理由を考えたことはない	不明・無回答
449	60	240	33	118	163	40	26	2
-	13.4%	53.5%	7.3%	26.3%	36.3%	8.9%	5.8%	-

問11（付問2）『同感しない』と考える理由（問11で3または4と回答した人のみ）

[複数回答]

	1	2	3	4	5	6	
規正標本数（総数）	性別によつて一律に役割を決めることはおかしいと思うから	男女ともに仕事と家事・育児・介護等の両方に関わる方が、各個人、家庭にとって良いと思うから	女性も仕事をする方が、生活が安定すると思うから	家庭以外の場面でも、女性の能力を活かせると思うから	その他	理由を考えたことはない	不明・無回答
1,759	975	1,200	454	612	96	24	23
-	55.4%	68.2%	25.8%	34.8%	5.4%	1.4%	-

2. 男性の参画について

問12 男性として生きづらさを感じる事（男性の方のみ）

〔複数回答〕

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
規正標本数（総数）	なにかにつけ「男だから」「男のくせに」と言われること	一人前だとされていること	仕事での成功や評価、経済力に価値が置かれていること	仕事を自由に選べないこと	リーダーシップをとることを当然視されること	家事や育児に関わることを快く思われないこと	弱音を吐くべきでないとされていること	体格や力の強さ、運動能力で劣っているとかにされること	その他	特にない	不明・無回答
1,075	269	265	460	68	192	47	190	120	36	331	23
-	25.0%	24.7%	42.8%	6.3%	17.9%	4.4%	17.7%	11.2%	3.3%	30.8%	-

問13 男性が家事をすること

	1	2	3	4	5	
規正標本数（総数）	よい男性も積極的に家事をするほうがよい	よい男性もなるべく家事をするほうがよい	よい男性はあまり家事をしないほうがよい	男性は家事をしないほうがよい	わからない	不明・無回答
2,292	1,421	778	12	2	79	150
100.0%	62.0%	33.9%	0.5%	0.1%	3.4%	-

問14 男性が家事、育児、介護等に積極的に参加するために必要なこと

〔3つ以内で複数回答〕

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
規正標本数（総数）	男性が家事などの抵抗感をなくすこと	シヨンや家族間でのコミュニケーション	方割年配者やまわりの人が、夫婦の役割を尊重すること	こと、社会の中で、男性による家事、育児、介護についての評価を高めること	労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどで、仕事を利用した多様な働き方を普及すること、仕事を以外に時間をより多く持てるようにすること	男性も育児や介護の休業を取りやすい環境にすること	間育児や介護を行っていく上での仲間がいること	その他	特に必要なことはない	不明・無回答
2,376	844	1,336	605	673	315	1,084	255	72	53	66
-	35.5%	56.2%	25.5%	28.3%	13.3%	45.6%	10.7%	2.9%	2.2%	-

問15 男性が育児休業を取得すること

	1	2	3	4	5	6	
規正標本数（総数）	て共働きの取得する方がよい	共働きの取得は、必要最低限にすべきである	共働きの取得は、必要最低限にすべきである	共働きの取得は、必要最低限にすべきである	共働きの取得は、必要最低限にすべきである	共働きの取得は、必要最低限にすべきである	不明・無回答
2,295	1,303	352	378	139	21	102	147
100.0%	56.8%	15.3%	16.5%	6.1%	0.9%	4.4%	-

問16 男性の育児休業の取得を進めるために職場で必要な取組

〔3つ以内で複数回答〕

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
規正標本数（総数）	革	管理職・上司の意識改革	経営層が先頭に立った職場風土づくり	育児休業を取得しても不利にならない人事評価制度の確立・周知	有給の育児休業制度の整備	長時間労働の削減や休みを取得しやすい職場環境づくり	テレワークなどＩＣＴを利用した多様な働き方の普及	休業者の仕事をカバーできる人員体制の整備	休業者の仕事をカバーする同僚等に対する手当の支給	その他	特にない	不明・無回答
2,374	602	1,141	718	1,090	362	674	219	840	399	47	37	68
-	25.4%	48.1%	30.2%	45.9%	15.2%	28.4%	9.2%	35.4%	16.8%	2.0%	1.6%	-

3. 家庭生活や地域活動について

問17 家庭生活における配偶者（パートナー）との役割分担 《理想》

	規 正 標 本 数 （ 総 数 ）	1 自 分 が 分 担	2 主 に 自 分 が 分 担	3 自 分 と 配 偶 者 （ パ ー ト ナ ー ） が 同 程 度 に 分 担	4 主 に 配 偶 者 （ パ ー ト ナ ー ） が 分 担	5 配 偶 者 （ パ ー ト ナ ー ） が 分 担	不 明 ・ 無 回 答	(1+2) 『主 に 自 分 』	(4+5) 『主 に 配 偶 者 （ パ ー ト ナ ー ） 』
(1) 生活費を稼ぐ	2,320 100.0%	118 5.1%	526 22.7%	1,128 48.6%	482 20.8%	66 2.8%	122 -	644 27.8%	548 23.6%
(2) 日々の家計の管理	2,325 100.0%	205 8.8%	422 18.2%	1,275 54.8%	320 13.8%	103 4.4%	117 -	627 27.0%	423 18.2%
(3) 食事のしたく	2,325 100.0%	134 5.8%	486 20.9%	1,182 50.8%	414 17.8%	109 4.7%	117 -	620 26.7%	523 22.5%
(4) 食事の後かたづけ	2,335 100.0%	140 6.0%	377 16.1%	1,493 63.9%	262 11.2%	63 2.7%	107 -	517 22.1%	325 13.9%
(5) 掃除	2,331 100.0%	94 4.0%	328 14.1%	1,616 69.3%	232 10.0%	61 2.6%	111 -	422 18.1%	293 12.6%
(6) 洗濯	2,329 100.0%	176 7.6%	405 17.4%	1,364 58.6%	279 12.0%	105 4.5%	113 -	581 24.9%	384 16.5%
(7) 日常の買い物	2,331 100.0%	127 5.4%	454 19.5%	1,379 59.2%	285 12.2%	86 3.7%	111 -	581 24.9%	371 15.9%
(8) ゴミ出し	2,327 100.0%	178 7.6%	358 15.4%	1,369 58.8%	302 13.0%	120 5.2%	115 -	536 23.0%	422 18.1%
(9) 介護・看病	2,286 100.0%	40 1.7%	187 8.2%	1,875 82.0%	148 6.5%	36 1.6%	156 -	227 9.9%	184 8.0%
(10) 子どもの教育としつけ	2,299 100.0%	39 1.7%	128 5.6%	1,943 84.5%	163 7.1%	26 1.1%	143 -	167 7.3%	189 8.2%
(11) 育児（乳幼児の世話）	2,290 100.0%	67 2.9%	372 16.2%	1,445 63.1%	348 15.2%	58 2.5%	152 -	439 19.2%	406 17.7%
(12) 自治会等の地域活動への参加	2,321 100.0%	105 4.5%	355 15.3%	1,437 61.9%	378 16.3%	46 2.0%	121 -	460 19.8%	424 18.3%

問18 家庭生活における配偶者（パートナー）との役割分担 《現実》

（配偶者（パートナー）のいる方のみ）

	規 正 標 本 数 （ 総 数 ）	1 い つ も す る	2 時 々 す る	3 ほ と ん ど し な い	4 ま っ た く し な い	5 非 該 当	不 明 ・ 無 回 答	(1+2) 『主に自分』	(3+4) 『主に配偶者 （パートナー）』
(1) 日々の家計の管理	1,412 100.0%	570 40.4%	396 28.0%	282 20.0%	133 9.4%	31 2.2%	37 -	966 68.4%	415 29.4%
(2) 食事のしたく	1,412 100.0%	751 53.2%	336 23.8%	236 16.7%	81 5.7%	8 0.6%	37 -	1,087 77.0%	317 22.5%
(3) 食事の後かたづけ	1,410 100.0%	791 56.1%	444 31.5%	143 10.1%	28 2.0%	4 0.3%	39 -	1,235 87.6%	171 12.1%
(4) 掃除	1,410 100.0%	682 48.4%	530 37.6%	159 11.3%	33 2.3%	6 0.4%	39 -	1,212 86.0%	192 13.6%
(5) 洗濯	1,414 100.0%	798 56.4%	326 23.1%	163 11.5%	117 8.3%	10 0.7%	35 -	1,124 79.5%	280 19.8%
(6) 日常の買い物	1,414 100.0%	721 51.0%	478 33.8%	168 11.9%	41 2.9%	6 0.4%	35 -	1,199 84.8%	209 14.8%
(7) ゴミ出し	1,412 100.0%	679 48.1%	397 28.1%	233 16.5%	89 6.3%	14 1.0%	37 -	1,076 76.2%	322 22.8%
(8) 介護・看病	1,352 100.0%	335 24.8%	281 20.8%	155 11.5%	33 2.4%	548 40.5%	97 -	616 45.6%	188 13.9%
(9) 子どもの教育としつけ	1,360 100.0%	568 41.8%	421 31.0%	85 6.3%	16 1.2%	270 19.9%	89 -	989 72.7%	101 7.4%
(10) 育児（乳幼児の世話）	1,350 100.0%	527 39.0%	281 20.8%	112 8.3%	17 1.3%	413 30.6%	99 -	808 59.9%	129 9.6%
(11) 自治会等の地域活動への参加	1,395 100.0%	445 31.9%	563 40.4%	222 15.9%	50 3.6%	115 8.2%	54 -	1,008 72.3%	272 19.5%

4. 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について

問19 生活の中での「仕事」、「プライベート・家庭生活」のバランス

		1	2	3	4	5	6	
	規正標本数（総数）	「仕事」に専念	「仕事」を優先	「仕事」と「プライベート・家庭生活」を両立	「プライベート・家庭生活」を優先	「プライベート・家庭生活」に専念	考えたことがない・わからない	不明・無回答
(1) 理想に最も近いもの	2,330	17	116	1,481	547	64	105	112
	100.0%	0.7%	5.0%	63.6%	23.5%	2.7%	4.5%	-
(2) 実際の状況に最も近いもの	2,070	70	681	770	317	89	143	372
	100.0%	3.4%	32.9%	37.2%	15.3%	4.3%	6.9%	-

問20 「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現された社会」に近づくために
職場において必要な取組

[3つ以内で複数回答]

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		
規正標本数（総数）	取組む	社長や取締役などがリーダーシップを発揮してワーク・ライフ・バランスを推進する責任者を決める	組織の中で、ワーク・ライフ・バランスを推進する責任者を決める	管理職の意識改革を行う	管理職以外の社員の意識改革を行う	無駄な業務・作業をなくし、労働時間を短縮する	年休の取得計画をつくる	ノー残業デーを設ける	育児・介護等の休業・休暇制度を充実し、育児休業・介護休業を取りやすくする	短時間勤務やフレックスタイム制度など柔軟な働き方ができるようにする	その他	特にない	不明・無回答
2,388	749	284	947	328	1,159	333	202	837	869	96	75	54	
-	31.4%	11.9%	39.7%	13.7%	48.5%	13.9%	8.5%	35.1%	36.4%	4.0%	3.1%	-	

5. 働き方について

問21 女性自身が考える理想の働き方（女性の方のみ）

	1	2	3	4	5	6	7		(2+3)	(2+3+4)
規正標本数（総数）	て仕事を続ける（育児休業を利用し て仕事を続ける場合を含む。）	め、子育ての時期だけ仕事を一時や める、その後はフルタイムで仕事を 続ける	め、子育ての時期だけ仕事を一時や める、その後はパートタイムで仕事 を続ける	子どもができるまで仕事をもち、 子どもができた後仕事をもちない	結婚するまで仕事をもち、結婚後 は仕事をもちない	仕事をもちない	その他	不明・無回答	『出産・子育てを機に 仕事をやめる （一時、やめるを含む）』	『出産・子育てを機に 仕事をやめる （一時、やめるを含む）』
1,266	599	231	299	48	27	20	42	57	530	578
100.0%	47.3%	18.2%	23.6%	3.8%	2.1%	1.6%	3.3%	-	41.9%	45.7%

問22 第一子出産時の主な職業（女性の方のみ）

	1	2	3	4	5	6	
規正標本数（総数）	勤め人（正規の職員・従業員、会社 などの役員）	勤め人（非正規の職員・従業員・ パート・アルバイト・派遣等）	農林漁業	会社経営者、自営業主（農林漁業を 除く）	家族従業者（農家や会社など自営業 主の家族で、その自営業に従事して いる方）	その他の有職	不明・無回答
684	415	188	2	13	39	27	639
100.0%	60.7%	27.5%	0.3%	1.9%	5.7%	3.9%	-

問23 第一子の子育てを始めたことによる仕事の状況（女性の方のみ）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9		(2～6)	(2～7)
規正標本数（総数）	業子育てをしながら、仕事を続ける場合を含む。）	規の職員・従業員）その後、フルタイム（正	正規の職員・従業員）その後、フルタイム（非	仕事を一時やめ、その後、パートタイム（正	仕事を一時やめ、その後、パートタイム（非	仕事を一時やめ、その後、自営業の職に就	仕事を一時やめ、その後、自営業の職に就	結婚後、仕事を持っていない	その他	不明・無回答	『出産・子育てを機に仕事をやめた（一時、やめたを含む）』	『出産・子育てを機に仕事をやめた（一時、やめたを含む）』
758	282	21	13	73	146	25	100	67	31	565	278	378
100.0%	37.2%	2.8%	1.7%	9.6%	19.3%	3.3%	13.2%	8.8%	4.1%	-	36.7%	49.9%

問23（付問1） 第一子の子育てを始めたことで仕事をやめた理由

（問23で2～5と回答した人のみ）

〔複数回答〕

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
規正標本数（総数）	通勤時間や通勤の問題で仕事を続けるのが難しかったため	勤務先に育児との両立に対する理解や両立支援制度が不十分だったため	妊娠・出産前と比べて、仕事の内容や責任等について、やりがいを感じられなくなった（なりそうだった）ため	配偶者（パートナー）のみで十分な収入が得られるため	家事、育児について、配偶者（パートナー）等家族の協力が得られなかったため	働くことに配偶者（パートナー）等家族の同意が得られなかったため	仕事と家事、育児の両立をこなす自信がなかったため	保育施設や保育サービスが利用できなかった（利用できなかった）ため	子どもが放課後過ごす場所が確保できなかった（できなかった）ため	家事・育児に専念したかったため	その他	特に理由はない、わからない	不明・無回答
253	48	49	8	21	61	14	89	23	13	66	30	3	0
-	19.0%	19.4%	3.2%	8.3%	24.1%	5.5%	35.2%	9.1%	5.1%	26.1%	11.9%	1.2%	-

問23（付問2） 第一子の子育てを始めた当時の子育てと仕事の状況に対する満足度

（問23で回答した人のみ）

	1	2	3	4	
規正標本数（総数）	満足していた	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満だった	不明・無回答
695	149	314	174	58	63
100.0%	21.4%	45.2%	25.0%	8.3%	-

問24 正規の会社員・職員・従業員として働く意向（問4で2と回答した人のみ）

	1	2	3	
正規標本数（総数）	希望する	条件が合えば希望する	希望しない	不明・無回答
458	76	259	123	49
100.0%	16.6%	56.6%	26.9%	-

問24（付問1） 正規の会社員・職員・従業員として働いていない理由
（問24で1または2と回答した人のみ）

〔複数回答〕

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
規正標本数（総数）	情妊難ム家 などの働き方 が難しいため	庭の事情以外 の理由で、フル タイムがタイ	社員・職員・従業員に なっていたが、制 度がないため	配偶者（パートナ ー）等家族が正 社員で働くこと に肯定的でない ため	家事・育児や介 護・看護につい て、	配偶者（パートナ ー）等家族の協 力が得られない ため	正規の会社員・職 員・従業員の仕 事に自分でもで きる仕事がある か自信がない ため	社会保険料や配 偶者控除を考 えて収入を抑 えたいため（扶 養の範囲内で 働きたいため）	保育施設や保 育サービスが 利用できない ため	介護・看護の 施設やサービ スが利用でき ないため	子どもが放 課後過ごす場 所が確保でき ないため	転職活動をした が採用されな かったため、ま たは採用され なさそうであ るため	正規の会社員・職 員・従業員での 就職に向け、現 在転職活動中 である	不明・無回答
328	130	66	40	14	35	51	43	0	6	21	29	48	26	7
-	39.6%	20.1%	12.2%	4.3%	10.7%	15.5%	13.1%	0.0%	1.8%	6.4%	8.8%	14.6%	7.9%	-

問25 男性が考える女性の理想の働き方（男性の方のみ）

	1	2	3	4	5	6	7		(2+3)	(2+3+4)
正規標本数（総数）	仕事を続ける （育児休業を利 用し続ける）	子育ての時期 だけ仕事を一 時やめる、そ の後フルタイ ムで仕事を 続ける	子育ての時期 だけ仕事を一 時やめる、そ の後パートタ イムで仕事 を続ける	子どもがで きたら仕事 を持ち、結 婚後も仕事 を持ちたい	結婚するま で仕事を もち、結 婚後も仕事 を持ちたい	仕事をもち たい	その他	不明・無回答	『出産・子育 てを機に、一 時仕事をや める』	『出産・子育 てを機に、一 時仕事をや める』
936	463	179	190	21	4	3	76	162	369	390
100.0%	49.5%	19.1%	20.3%	2.2%	0.4%	0.3%	8.1%	-	39.4%	41.7%

問26 女性が仕事を続けていくために必要なこと

〔3つ以内で複数回答〕

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
規正標本数（総数）	女性が働くことに対し、家族や周囲の理解があること	男女がともに日常的に家事・育児・介護を分担すること	育児や介護のための施設やサービスを充実させること	職場において育児や介護の休業を確保し、男女問わず利用しやすい環境（人員体制や職場風土等）にすること	育児や介護で退職した社員を再雇用する制度を設けること	男女の賃金格差をなくすこと	長時間労働を是正すること	女性にも責任ややりがいのある仕事を任せること	パートタイマーや派遣労働者の労働条件を改善すること	在宅勤務やフレックスタイム制（始業と終業時刻を労働者の意思で決定できる勤務体制）を設けること	その他	特に条件整備は必要ない	不明・無回答
2,396	1,016	1,454	737	963	346	424	334	155	278	277	49	19	46
-	42.4%	60.7%	30.8%	40.2%	14.4%	17.7%	13.9%	6.5%	11.6%	11.6%	2.0%	0.8%	-

問27 管理職につく女性が少ない最も大きな理由

	1	2	3	4	5	6	7	8	
規正標本数（総数）	女性自身が管理職に 極端的だから	女性自身は、勤続年 数が短く、管理職 になる前に退職す るから	女性自身は、家庭に おける責任の重い 仕事に担っているた め、責任の重い仕 事につくことがな いから	女性自身は、能力 的にみて管理職に 向いていないから	女性自身は、知識 や経験、判断力な どを高める機会が 少ないから	会社や組織の中に 昇進・昇格に對 する男性優先の意 識や、女性管理 職に對する不安 感があるから	その他	わからない	不明・無回答
2,282	304	250	769	10	121	531	92	205	160
100.0%	13.3%	11.0%	33.7%	0.4%	5.3%	23.3%	4.0%	9.0%	-

6. 男女間の暴力について

問28 男女間の暴力に関する言葉や事柄の認知度

		1	2	3		(1+2)
	規正標本数（総数）	内容まで知っている	聞いたことはあるが内容は知らない	まったく知らない	不明・無回答	『認知度』
(1) DV（ドメスティック・バイオレンス、配偶者・パートナーからの暴力）	2,380 100.0%	2,077 87.3%	273 11.5%	30 1.3%	62 -	2,350 98.7%
(2) デートDV（恋人間に起こるDV）	2,345 100.0%	1,102 47.0%	748 31.9%	495 21.1%	97 -	1,850 78.9%

問29 夫婦や恋人など親しい人間関係の中で起こる暴力の経験

	1	2	3	4	
規正標本数（総数）	直接経験したことがある	自分（またはパートナー）の経験したことがある	自分の経験したことがある（または、自分（またはパートナー）の経験したことがある）	答えたくない	不明・無回答
2,332 100.0%	183 7.8%	568 24.4%	1,512 64.8%	69 3.0%	110 -

問30 夫婦や恋人の間で相手から暴力を受けたときに相談できる機関の認知度

〔複数回答〕

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		(1~10)
規正標本数（総数）	配偶者暴力相談支援センター	中央子ども家庭相談センター	彦根子ども家庭相談センター	県立男女共同参画センター（GINETしが）	福祉事務所、保健所	口市町の福祉・女性・人権相談窓口	女性の人権ホットライン（大津地方法務局）	犯罪被害者総合窓口（公益社団法人おうみ犯罪被害者支援センター）	性暴力被害者総合ケアワンス（トッポびわ湖SATOCSO）	警察総合相談（県民の声110番）	いずれの相談機関も知らない	不明・無回答	『認知度』
2,368 -	201 8.5%	105 4.4%	122 5.2%	240 10.1%	411 17.4%	457 19.3%	348 14.7%	67 2.8%	72 3.0%	576 24.3%	1,037 43.8%	74 -	1,331 56.2%

7. 男女共同参画社会について

問31 理想の男女共同参画社会の姿

〔3つ以内で複数回答〕

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
規正標本数（総数）	家庭男女がともに家事・育児・介護等の生活に参画している	幅広い層の男女が地域活動に積極的	育児や介護などと仕事両立できる	子ども男女ともに多様な働き方を選択できる	暴力がない（DV（ドメスティック・バイオレンス）や性犯罪等の男女間のあらゆる問題）	生涯を通じて男女の性と健康が守られている	男女共同参画の視点を立つた学校等における教育・学習が充実している	県・市町の議会議員や管理職として、政策決定の場で女性が活躍している	民間企業・団体等の役員や管理職として女性が活躍している	自治会活動等の地域活動のリーダーとして女性が活躍している	女性の起業に対する支援が充実している	育児や介護等によりいったん退職した場合でも再就職しやすい	その他	特にない	不明・無回答
2,404	1,579	498	980	847	393	312	308	246	159	61	82	468	33	107	38
-	65.7%	20.7%	40.8%	35.2%	16.3%	13.0%	12.8%	10.2%	6.6%	2.5%	3.4%	19.5%	1.4%	4.5%	-

問32 県立男女共同参画センター（G-NETしが）の認知度

	1	2	3		(1+2)
規正標本数（総数）	利用したことがある	知っていたことはないが	知らない	不明・無回答	『認知度』
2,343	139	419	1,785	99	558
100.0%	5.9%	17.9%	76.2%	-	23.8%

問33 県立男女共同参画センター（G-NETしが）に期待する取組

〔3つ以内で複数回答〕

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
規正標本数（総数）	男女共同参画に関する講演会・シンポジウム、フォーラム等の企画・開催	子育て支援や介護、自己啓発講座など実践的な講座の企画・開催	男女共同参画を推進するリーダー、指導者の育成	教育や保育現場に携わる教職員等への講座の企画・開催	男性や若年層など幅広い層への講座の企画・開催	男女共同参画に関する相談しやすい窓口の運営	男女共同参画に関する情報、資料、書籍等の収集、提供	男女共同参画社会づくりに関する調査研究	NPO、自主的な活動団体、ボランティア等の活動支援・交流の場づくり	ワーク・ライフ・バランス等を実践する経済・労働団体等との連携	女性の就労をサポートする就職相談や就職講座、就職情報の提供	起業セミナーなどの女性のチャレンジ支援のための講座の充実	市町への支援（情報提供、人材育成、連携の強化等）	その他	特にない	不明・無回答
2,362	291	586	349	289	269	633	162	136	195	449	421	126	359	78	307	80
-	12.3%	24.8%	14.8%	12.2%	11.4%	26.8%	6.9%	5.8%	8.3%	19.0%	17.8%	5.3%	15.2%	3.3%	13.0%	-

問34 滋賀マザーズジョブズステーションの認知度

	1	2	3	4		(1+2+3)
規 正 標 本 数 （ 総 数 ）	と も 知 っ て い る	草 津 駅 前 と 近 江 八 幡 の 両 方	草 津 駅 前 は 知 ら な い が、 近 江 八 幡 は 知 っ て い る が、	両 方 と も 知 ら な い	不 明 ・ 無 回 答	『 認 知 度 』
2,325	56	100	84	2,085	117	240
100.0%	2.4%	4.3%	3.6%	89.7%	—	10.3%